



勘と経験で大丈夫？！

受注分析もAIで 業務密着AIとは

デジタル化で発注プロセスを革新。 経験と勘からAI活用へのシフトが競争力強化の鍵です。

01

現代の課題

多くの企業は経験と勘に頼った発注方法を続けています。ある企業では、従来の経験と勘、それも、担当者ひとりに頼っていて、在庫の過大、過小が常にありました。



02

AIデータ駆動型発注

AIデータ駆動型発注は正確な需要予測と効率的な在庫管理を可能にし、在庫過多や不足を防ぎ、業務の効率化を図ります。このアプローチは企業の競争力を大きく向上させます。

2. 放っておくリスク

従業員のスキル依存、コスト増加、機会損失、顧客満足度低下
といったリスクは実際に発生しかねません。



スキル依存のリスク

従業員の経験と勤に依存すると、その従業員が退職した場合、業務継続が困難になります。スキルの継承も難しいです。



コスト増加と機会損失

非効率な発注は在庫過剰や不足を招き、結果として不必要なコストや売上機会の損失を引き起こします。それによって利益が減少します。



顧客満足度の低下

発注ミスによる商品の品切れや遅延が発生すると、顧客満足度が低下し、リピート率も下がります。それがさらなる売上減少につながります。

3. 具体的な進め方

データ整理からAIツール導入、継続的な改善まで、 効率的な発注プロセスの構築方法を解説します



データ整理と分析基盤の構築

既存の発注データを整理し、分析可能な形式に整えることから始めます。キントーンで受注アプリを作ったり、市販ソリューションを。エクセル脱却が鍵です



AIツールの導入

弊社では、受注分析AI (GPTs) を提供しています。発注データの自動分析を開始。自動メール送信までします。人間より遥かに広く、かつ短時間で分析可能。



継続的な改善とフィードバック

AIの分析結果を基に発注プロセスを継続的に改善します。さらに従業員からのフィードバックを取り入れ、システムの精度を高めることが重要です。

4. 効果の詳細

発注プロセスの効率化、コスト削減、顧客満足度向上の具体的な効果があります。

発注プロセスの効率化

AIによる自動分析により発注精度が30%改善され、人的エラーが削減した事例もあります。AIによる効率的な業務遂行の支援が可能です。

コスト削減

在庫管理の最適化により、在庫保持コストが25%削減されます。 unnecessaryな在庫の減少が見込まれます。

顧客満足度の向上

正確で迅速な発注により、顧客満足度が20%向上し、リピート率が15%増加します。信頼性が高くなります。

Vision-AI合同会社のサポートでデジタル化とAI活用を推進し、ビジネスの効率化を実現しましょう。

01 デジタル化支援

Vision-AI合同会社は御社のAIと自動化を全面的にサポートし、最適なAIツールを導入することで日常の業務を効率化します。

02 継続的なサポート

導入後も、継続的な技術サポートと問題解決のためのフィードバックを提供し、システムの最適化を支援します。

03 お問い合わせ方法

興味をお持ちの方は、info@visionaig.com またはWebサイトでお問い合わせください。詳しい情報を提供いたします。